



# 市議会 だより

city  
assembly  
report

Vol. 21

おもな内容

- 議員紹介と抱負 ————— 2~3
- 議案審議 ————— 4~5
- 常任委員会報告 ————— 6~7
- 代表質問目次 ————— 8
- 代表質問 ————— 9~11
- 一般質問目次 ————— 12
- 一般質問 ————— 13~17
- 特別委員会・組合議会 — 18~19
- であい・こうか八景 Vol.1 — 20



# 甲賀市議会

# 私のおもい



議長 伴 資男

先人の足跡に学びつつ、思いを将来にはせ、地方分権が進む中、市民が主役の協働のまちづくりのため、市民の皆様と連携を一層密にし、議員の資質向上で議会の活性化と、民主的であり開かれた議会運営に取り組みます。

石川善太郎



市民の皆様への託に応え、初心に返り、誠意を持って議会活動に努めます。

正国会

安井 直明



暮らしても市の財政も大変。議員の役割、誠意、行政チェックに頑張ります。

共産党

今村 和夫



共に語り、共に歩む。議員活動のもと、皆様の負託に応えていく決意です。

甲政クラブ

加藤 和孝



どこまでも一人の人を大切にとの思いで、甲賀市のまちづくりに取り組みます。

公明党

白坂萬里子



合併して5年、自助・共助・公助の調和した、市一体化の町づくりに頑張ります。

公明党

田中 新人



市民の皆様とともに住みやすい「だれもが住みたくなるまちづくり」を目指します。

正国会

小松 正人



温もりのある市政に、いのち・暮らし・平和を守る活動に、全力を尽します。

共産党

辻 重治



だいたすきな、甲賀市。まち・ひとが輝くよう、精いっぱい頑張ります。

甲政クラブ

土山 定信



皆さんが納得していただける立場を貫き、身近な議会になるよう努力します。

無所属

木村 泰男



「めげず くさらず 元気よく」をモットーに、議員活動に励みます！

無所属

森嶋 克己



「行動と実行力」をモットーに皆様の声を市政に届け、反映に努めます。

正国会

小西喜代次



市民の声をまっすぐに市政に届け、市民が主人公の市政のためがんばります。

共産党

山岡 光広



新聞記者の経験を生かし、市民の切実な要求実現へ全力。一歩一歩前進へ。

共産党

平成21年10月18日の改選により、選出された27名の第3期甲賀市議会議員に甲賀市政に対する想い、抱負を語っていただきました。



市長 中嶋 武嗣

甲賀市は、しっかりと息づく「人の和」「地域の絆」を基に、市民が満ちあふれる笑顔で共生していけるまちづくりを進めます。不透明な時代だからこそ自治の原点に立ち返り、市民のために議会機能が惜しみなく発揮されることを期待します。



服部 治男

清風クラブ

合併後5年が経ちました。厳しい時代ではありますが、よりよい市としたい。



橋本 律子

清風クラブ

より身近で信頼される議会へ。皆様と築く、地域「コミュニティ」の中心に夢を。



中島 茂

甲政クラブ

新しい時代、新たな議会から、協働のもと甲賀市に夢ある活動を進めます。



岩田 孝之

清風クラブ

厳しい財政状況の中、この4年間を議員としての集大成とすべく頑張ります。



中西 弥兵衛

清風クラブ

本市が不況に負けない地域力を培うために、新たな公を軸とするまちづくりを頑張りたい。



村山 庄衛

清風クラブ

若者が定住できるまち、子育てがしやすい21世紀型の自然と共生のまちづくり。



野田 卓治

清風クラブ

「住民が主役」協働のまちづくりをもとに、市民のニーズに応じた市政を推進。



高原 章年

甲政クラブ

10年間の議員経験を生かし、心機一転、皆さんの声を議会で発言していきます。



鵜飼 勲

清風クラブ

地方分権の時代出あい(愛)・ふれあい(愛)・助けあい(愛)精神で市民参加型行政を目指します。



舛 藤男

清風クラブ

輝く甲賀市の未来のため、皆様と共に考えながら、まちづくりをすすめます。



的場 計利

清風クラブ

平成ルネサンス。一人ひとりの力で未来へ翔く、そんな甲賀市をめざして頑張ります。



谷永 兼一

清風クラブ

『地域の夢と元気を応援します！』市民みんなで素敵なまちを創りましょう。



橋本 恒典

清風クラブ

「みんなで作るふるさと甲賀」若さと体力、行動力で一生懸命に頑張ります。

# 新議員による初の臨時会・定例議会

議員定数27名の甲賀市議選後、新議員による初議会が開かれました。  
 11月4日の臨時会は議会人事の決定、報告(専決)があり、11月30日～  
 12月18日の間は、定例議会が開かれ、議案36件、報告(専決)3件、請願  
 1件、意見書6件、議会提案1件が上程され、即決議案の他は常任委員会  
 に付託審議され、最終本会議にて議決されました。

## 臨時会

## 12月定例議会

### 人事

◆議長 伴 資男  
 副議長 白坂萬里子

◆甲賀広域行政組合議会  
 5名

◆公立甲賀病院組合議会  
 5名

### 委員会設置

総務常任委員会 7名  
 民生常任委員会 7名  
 文教常任委員会 7名  
 産業建設常任委員会 6名  
 広報特別委員会 8名  
 議会運営委員会 9名  
 (委員の紹介は、委員会のページ参照)

### 人事

◆教育委員会委員の任命  
 山田喜一朗  
 (水口町宇田) 〓再任

◆人権擁護委員の推薦  
 市井 幸夫  
 (土山町大野) 〓再任  
 前田喜志江  
 (土山町北土山) 〓再任

◆監査委員の選任  
 服部 治男  
 (賛成多数にて同意)

### 条例改正

◆特別委員会設置  
 議会改革特別委員会 9名  
 交通対策特別委員会 9名  
 環境対策特別委員会 8名

◆特別職の職員給与等に関する条例及び教育委員会教育長の給与等に関する条例の一部改正(減額)  
 (全員賛成にて可決)

◆職員の給与に関する条例の一部改正(減額)  
 (賛成多数にて可決)

◆非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部改正  
 (全員賛成にて可決)

◆特別会計条例の一部改正  
 (全員賛成にて可決)

◆手数料条例の一部改正  
 (全員賛成にて可決)

◆消防団員等公務災害補償条例の一部改正  
 (全員賛成にて可決)



◆保育園設置等に関する条例の一部改正  
 (全員賛成にて可決)

◆子育て支援センター条例の一部改正  
 (全員賛成にて可決)

# 議会で審議したもの

◆開発許可の基準等に関する条例の一部改正  
(全員賛成にて可決)

◆みんなのまちを守り育てる条例の一部改正  
(全員賛成にて可決)

◆都市公園条例の一部改正  
(全員賛成にて可決)



市内の公園

◆道路占用料徴収条例の一部改正  
(賛成多数にて可決)

◆法定外公共物管理条例の一部改正  
(全員賛成にて可決)

## 予算・補正予算

◆介護老人保健施設事業特別会計予算  
(全員賛成にて可決)

◆一般会計補正予算(第5号)

◆介護保険特別会計補正予算(第3号)

◆公共下水道事業特別会計補正予算(第3号)

◆農業集落排水事業特別会計補正予算(第3号)

◆土地取得事業特別会計補正予算(第2号)

◆野洲川基幹水利施設管理事業特別会計補正予算(第2号)

◆国民健康保険診療所特別会計補正予算(第2号)

◆浄化槽管理事業特別会計補正予算(第3号)

◆病院事業会計補正予算(第1号)

◆水道事業会計補正予算(第2号)

(以上補正予算10件、全員賛成にて可決)

## 議決

◆財産の処分につき議決を求めることについて  
(大河原園地の休憩所として有効活用を図るため、休憩所2棟を無償譲渡)

◆滋賀県市町土地開発公社定款の変更につき議決を求めることについて

◆滋賀県自治会館管理組合を組織する地方公共団体の数の減少及び滋賀県自治会館管理組合規約の変更に関する協議につき議決を求めることについて

◆滋賀県市町村職員研修センターを組織する地方公共団体の数の減少及び滋賀県市町村職員研修センター規約の変更に関する協議につき議決を求めることについて

◆滋賀県市町村交通災害共済組合を組織する地方公共団体の数の減少及び滋賀県市町村交通

## 市道路線の認定

災害共済組合規約の変更に関する協議につき議決を求めることについて  
(以上5件、全員賛成にて可決)

◆大原中3号線(甲賀町の認定)

◆松尾水口線(水口町の認定(左写真))  
(全員賛成にて可決)



## 議員提案の条例改正

◆議会の議員報酬に関する条例の一部改正(減額・月額)

議長 10,000円  
副議長 7,000円  
議員 5,000円

(全員賛成にて可決)

## 意見書

◆地域農業の再生と「食の安全」を緊急に求める意見書  
(賛成少数にて否決)

◆後期高齢者医療制度のすみやかな廃止を求める意見書  
(賛成少数にて否決)

◆「ヒブワクチン」の公費による定期予防接種化等を求める意見書  
(全員賛成にて可決)

◆扶養控除等廃止の方針撤回を求める意見書  
(賛成多数にて可決)

## 第22回近畿市町村広報紙コンクール

自治体広報紙の出来栄を競う第22回近畿市町村広報紙コンクール(毎日新聞社、毎日文化センター主催)の入賞作品が12月9日発表され、「こうか市議会だより」20号が奨励賞に選ばれました。



◆地方自治の混乱をさけるため平成21年度補正予算の適正な執行を求める意見書  
(賛成多数にて可決)

◆平成22年度予算編成に向けた市町に対する事業見直しに関する意見書  
(全員賛成にて可決)

## 請願

◆「あいあいバス」の復活を求める請願書  
(賛成少数にて不採択)

## 民生常任委員会

市民の生活と環境・福祉に関わる委員会です。

民生常任委員会では、12月15日に委員会を開催し、執行部に資料の提出を求め付託案件2件について慎重審査しました。

### 甲賀市介護老人保健施設事業 特別会計予算 「あいあいバス」の復活を求める 請願書を審査

#### 特別会計予算

甲賀市介護老人保健施設事業特別会計予算

水口医療センター改築

に伴い、新たに平成24年4月に開設を目指して、まず介護老人保健施設整備・運営にかかる会計で、予算額 3千110万円

#### 請願

「あいあいバス」の復活を求める請願書

昨年11月から「あいあいバス」が廃止されたことに伴い「あいあいバス」の復活を求める請願です。審査の結果、賛成少数で不採択とすべきものと決定しました。



森嶋 鶴飼 加藤 中島 村山 小西

## 総務常任委員会

市行政推進の中核を担っている委員会です。

#### 所管事務調査

### 地域コミュニティの 創造をめざして

当委員会は12月15日に開催し、副市長、総務部長、企画部長、財務部長の出席を求め調査を実施しました。

- ① 甲賀市の財政見直し
- ② 公共施設の見直し
- ③ 補助金の見直し
- ④ 第2次行政改革大綱

⑤ 新しい地域コミュニティの創造について

財政が厳しくなった理由として国の三位一体の改革により地方交付税の減額、経済不況による市の税の減収、社会保障関係費の増加、上下水道事業、病院、国民健康保険、医療費等への繰出金の増加などが影響しています。税の徴収率向上、定員適正化計画による人員削減、公共施設、補助金の見直し、投資的経費の抑制など、これまで以上に取り組み、健全財政をめざし、明るい甲賀市を願うもの

です。第1次行政改革大綱の終期を迎えることから、第2次行政改革大綱が策定され、市民と協働のまちづくりが行われ、地域コミュニティのあり方も検討が必要となります。今日の社会において、家族はもとより地域のつながりや人間関係は希薄になっていきます。そこで地域コミュニティを担う新たな組織を構築する必要があります。ことから、概ね小学校区毎に自治振興会



を設置しようとするものです。協働のまちづくりがすでに始まっていますが、実施に向けて、市民へ充分な説明と理解が必要です。



白坂 石川 野田 葛原 安井 舩 橋本

◎委員長 ○副委員長

## 産業建設常任委員会

産業・建設・観光振興・上下水道の整備に関わる委員会です。

### 所管事務調査

# 教育委員会各課事業の進捗状況と 新年度への取り組み方針

文化やスポーツ、教育に関わる委員会です。

文教常任委員会は、さる1月12日、選挙後の新メンバーによる初委員会を開催し、21年4月の機構改革で6課1室1所16係と大きく変わった事務局の各課事業の進捗状況と新年度への取り組み方針について教育長、教育部

長の出席を求め調査しました。主な事業は次の通りです。  
**◇教育総務課**  
 ①甲賀市教育振興基本計画の策定と推進  
 ②市立小中学校の適正規模および配置に関する基本方針の策定

③教育委員会の機能充実  
**◇学校教育課**  
 ①子どもの安心、安全向上事業  
 ②特別な配慮を要する児童生徒、保護者への支援  
**◇子ども未来課**  
 ①甲賀市幼稚園保育園の

適正規模に関する方針  
 ②育ちをつなぐ保幼小家庭地域社会の連携  
**◇社会教育課**  
 ①生涯学習の推進と学習者への支援  
**◇文化スポーツ振興課**  
 ①甲賀市文化のまちづくり計画の策定と進  
 ②であい・こうか八景の啓発  
**◇歴史文化財課**  
 ①市内文化財の調査保存  
 ②市史編さん事業

以上の各課の具体的事業、方針の説明を受けました。中でも小中学校の適正規模、配置に関する事案および公民館のあり方などについて質疑が集中しました。今後の具現化に向けては多くの課題があり当委員会での慎重審議が求められます。



岩田 末村 服部 今村 中西 橋本 小松

### 所管事務調査

# 公立甲賀病院移転地への 取り付け道路整備進む

委員会の所管は、産業経済部、建設部、上下水道部です。

このうち建設部所管の事業について1月12日に調査を行いました。

### ◇都市計画課

JR寺庄駅の駅舎や、スポーツの森整備、花風

香の湯管理運営委託などに取り組む。  
**◇管理課**  
 道路の維持管理全般や土砂災害、風水害、雪寒対策などを図る。32団地ある公営住宅について、維持管理などに取り組む。

### ◇建設課

道路改良事業など整備工事は12ヶ所で実施している。交通安全施設整備工事も取り組む。  
**◇国県事業課**  
 国道県道の延長は32.9kmあり、14ヶ所において工事が進められている。また、河川や砂防、ダム、

新名神のインター関連事業などにも取り組んでいる。  
**◇現地調査**  
 公立甲賀病院移転地の取り付け道路となる国道1号線の計画地や、4車線化の工事がすすめられている国道1号線名坂付近の取り組み、そして10月に無料となる国道307号線グリーンバイパスの現況について現地調査を行いました。



新甲賀病院の入口付近の調査



主山 田中 的場 辻 谷永 山岡

## 目次

## 平成21年第7回甲賀市議会定例会代表質問

平成21年12月8日

順番	議席番号	氏名	会派名	質問事項
1	18番	村山 庄衛	清風クラブ	1 平成22年度予算編成方針について
				2 コミュニティプラットホームと協働のまちづくりについて
				3 耕作放棄地対策について
				4 草津線複線化の促進について
2	23番	今村 和夫	甲政クラブ	1 平成22年度予算編成について
				2 市長ぐるっとトークについて
				3 政権交代による本市への影響と今後の対応について
3	22番	安井 直明	共産党 甲賀市議員団	1 民主党政権における平和の問題（普天間基地移転）と後期高齢者医療制度について
				2 日本共産党のアンケート結果に見る市政の評価について
				3 市会議員選挙での市民の願いを実現せよ
				4 来年度予算を問う
4	21番	石川善太郎	正政会	1 行政改革について
				2 平成22年度予算編成の基本方針は
5	11番	加藤 和孝	公明党 甲賀市議員団	1 平成22年度甲賀市予算編成方針に関連して
				2 高齢者福祉施策について
				3 任意接種への公費助成について
				4 信楽ニュータウンの上水道施設の移管及び団地内道路の公道認定について
				5 子どもの読書環境の整備について



# 各会派による 代表質問

## 平成22年度予算編成と協働のまちづくりについて

清風クラブ



村山 庄衛

**問** 厳しい経済状況の中  
22年度の予算編成をど  
うするか。

**市長** 景気動向の低迷に  
より、個人、法人市民税  
の落ちこみ、県の財源不  
足による補助金の見直し  
など、22年度の歳入は  
今年度よりさらに厳しい  
と予測する。財源確保に  
おいては、公共施設や補  
助金の見直しを行ない「費  
用対効果」の高い事業選  
択を実行する。

**問** 平成22年度以降3ヶ  
年は財源不足を乗り越え  
ための「改革プラン」が  
実践されるが市民への周  
知はできるのか。

**市長** 区長連合会や地域  
区長会において財政健全  
化の取り組みを説明し、  
市民の皆様から多くの質  
問や意見を聞くことがで  
きた。今後とも市民の皆

様と協議を重ね、負担を  
先送りせず、「明日のた  
めに、今やる」決意で改  
革を実行する。

**問** 協働のまちづくりに  
おいて「自治振興会」の  
設置が提案されたが目的  
を問う。

**市長** 高度成長期に人と  
人のつながりが希薄化す  
る中、少子高齢化の時代  
となり地域住民がみんな  
で支えあい福祉や防災な  
ど様々な課題を行政と共  
に解決するコミュニティ  
組織を再構築する。

**問** 具体的にどのよう  
に進めるのか。

**市長** 現在の区を23の小  
学校区にまとめ「地域コ  
ミュニティセンター」を  
設置し、支所機能（住民  
票などの証明書の発行）  
をもたせ、市職員の配置  
により市民の皆様と議論

を重ね自治振興のための  
支援体制をつくり支所機  
能の充実をはかる。

協働のまちづくり



**問** 耕作放棄地対策を問  
う。

**産業経済部長** 農業委員  
会パトロールによる調査  
結果を分析し、獣害対策  
や担い手育成など継続し  
て行ない政府補助金を活  
用し放棄地再生に対する  
支援を行う。

代表質問

平成22年度予算編成について

甲政クラブ



今村和夫

**問** 平成22年度予算編成に取り組む市長の思いは。

**市長** 合併後、地方分権の進展や、不十分な地方への権限と税源委譲、無秩序な投資マネーが引き金となった世界的不況など、地方自治体にとって

は逆風が吹き付ける状況下のもとではあるが、将来に大きな負担を先送りすることなく、真に必要な施策を充実させていくためには、人件費の抑制はもとより、今ある制度やその手法を改革し、抜本的な見直しを行うことが必要と考えている。

健全財政を維持し、これらの取り組みにより市民皆様の生活を守るための財源を確保することで、「みんなが住みよさと活気あふれる甲賀市」の実現につなげていきたい

いと考える。

**問** 財政基盤の確立に向けた取り組みは。

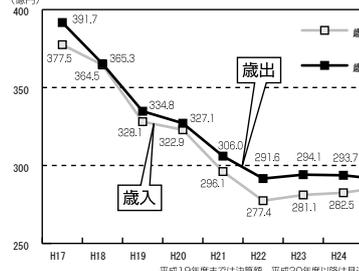
**市長** 収入確保の面からは、市税等の徴収率向上と滞納整理の推進が第一と考えている。滞納者への自主納付の働きかけなど、今まで以上に税収確保に努める。歳出面においては、今ある制度や事務事業のやり方を改革し、組織のスリム化とそれに合わせた定員適正化計画を今年度に見直し、人件費の削減に努める。

物件費や維持補修費では、今日までの経費削減に加え、地元地域の皆様方のご理解とご協力を得る中で、公共施設の見直しを図ることにより、合併のスケールメリットを發揮していきたいと考えている。各種補助金について

も一市一制度を基本に補助金の適正化を図る。

**問** 政権交代による本市への影響は。

**市長** 様々な分野において新しいシステムづくりが進められようとしている中で、これまでの制度の多くが見直されようとしている。現時点では具体的な内容が示されておらず、当市への影響がどの部分にどの程度及ぶか今後の動向を注視する。厳しい甲賀市の財政



選挙公約と平成22年度予算を問う

日本共産党



安井直明

**問** 民主党政権下での米軍普天間基地移転や後期高齢者医療制度廃止などは選挙時の公約違反だ。所見を問う。また、平和記念事業として広島被爆写真展をする考えは。

**市長** 国政の外交問題は、コメントを差し控える。広島・長崎の写真展は経費のかからない市独自の平和資料展等を検討する。

**問** 市議選では、▼通院の中学校卒業まで医療費を無料に▼県下でも高すぎる国保税を引き下げ、特別養護老人ホームの建設など▼サルやシカなど獣害への防護柵に対する補助制度の拡充・被害防止策など▼食の安全・地産地消を拡充、近江米を守ること。▼地域要求の、あいあいバスの復活、岩室

では県道嵯峨和野線の早期改良、甲賀土山線の歩道・自転車道などの建設。和野では市道と野佐山幹線の改良、県道と野嵯峨線が貴生川まで通じるように。嵯峨では岩上橋は、2m以上の通行制限がある。バスが通れるよう補修を。今郷では野洲川の立木を災害などに備え伐採を。



あいあいバス

**市長** 医療費無料化は、約3億4千万円必要。財政が厳しく更に検討する。国保税は、一般会計からの繰り入れも財政が厳

しく限界だ。特養ホームは23年度1施設整備する。獣害対策の防護柵は、要望箇所は、すべて採択し来年度も予算拡充を検討。地産地消に努め、近江米主産地としての振興を図る。各地域要求は検討する。

**問** 新年度予算は大変きびしい、県の市への見直しでの影響額は。平成24年度まで毎年10億円の財源不足だ。補助金等の削減、公共施設の見直しは市民生活に大きく影響。同和の固定資産税の減免や雑誌購入などを見直し。遊休地売却や活用を、旧4町の庁舎の積極的な活用を図るべきだ。

**市長** 県の影響は、5千600万円。同和予算や遊休地、空き庁舎等は、さらに検討する。

代表質問

ここに掲載する原稿は、質問者の責任において提出されたものです。



行財政改革が急がれる甲賀市（水口庁舎）

**問** 平成18年に計画された行政改革の進捗状況と市民への説明は。

**市長** 「協働と開かれた市政の推進」では、パブリックコメント制度の活用、出前講座の制度化、ホームページの充実などにより情報公開の仕組みをつくらせた。今年度は公共施設と補助金の見直しに関連し、区長会に積極的に情報を公開し、市民との情報の共有化を図った。「質の高い行政サービスの提供」では、接遇の改善、窓口業

22年度予算編成に向けて、行財政改革をどう進めていくのか

正政会



石川 善太郎

務の時間延長、指定管理者制度の導入などにより行政サービスの向上に努めた。「効率的な行政運営」では、行政評価制度の導入、

事務局別経営方針や人事評価制度、「財務体質の改善」では、定員適正化計画による職員数の削減や人件費の削減、公共施設の見直し、補助金の見直しなどによる物件費、補助費等の削減などに取り組んできた。

**問** 18年度に実施した市民に開かれた形での事業仕分けを今後も実施するのか。

**市長** 20年度から実施をしている行政評価制度の定着に向けた取り組みを進めるため、事業仕分けは実施の予定は無い。

**問** 施設見直しの状況と市民への説明は。

**市長** 小中学校など特定施設を除く施設について（仮称）地域コミュニティセンターの位置づけを踏まえた上で「休廃止」「統廃合」等6つ方向性を示し、地域区長会での説明と意見を聞く場を設けている。

**問** 22年度予算編成の基本方針は。

**市長** この先3年間は毎年10億円程度の財源不足が予測されるので、今日までの分析と検証を加え人件費・補助金の見直し、公債費の抑制など今ある制度や、やり方を抜本的に見直す。

**問** 国の予算編成の方針が大きく変わったことへの対応は。

**市長** 国の影響が見えてこない状況下から現行制度を基に進める。

平成22年度甲賀市予算編成方針に関連して問う

公明党



加藤 和孝

**問** 毎年約10億円の財源不足が見込まれる中、平成22年度予算編成の基本方針として掲げられている集中改革プランの実践や行政評価制度が予算編成にどのように反映されるか。

**市長** 職員の定員適正化、公共施設や補助金の見直し、市税等の徴収率の向上や滞納整理、地方債発行額の抑制等により予算の削減を図る一方、行政改革推進委員会による行政評価を予定している。20事業につき、新年度予算に反映させていく。

**問** 高齢者福祉施策として、孤独死を防ぐための地域の見守り体制の拡充、ポイント制度による介護支援ボランティア活動の導入、徘徊高齢者等の探索システムの利用助成を

検討すべきでは。

**健康福祉部長** 高齢者世帯等を対象に、孤独死、重度認知症の徘徊、虐待等の問題を早期に見つけるよう、地域のネットワークづくりに努めている。介護支援ボランティア制度の導入について検討する。探索システムの利用助成の導入に向け検討する。

**問** しがらきニュータウンにおける専用水道の水道移管に向けての道筋は。団地内道路を公道にできない理由は。

**上下水道部長** 移管には様々な課題があるため、地元上下水道推進委員会や専用水道事業者と各課題について協議を重ねていく。

**建設部長** 道路認定要件を満たしていないため、

市道認定ができない。危険箇所は補修については生活道路でもあるので、開発業者に指導していく。



補修が必要な道路（しがらきニュータウン）

**問** 子ども読書の日や読書週間などに、学校図書館と公立図書館との連携した取り組みが必要では。

**教育長** 図書館環境や読書活動についての調査結果を基に、「読書の日」や「読書週間」の取り組みも含め、子どもたちの読書活動がよりよいものとなるようにすべく、各学校の状況に合わせて連携を深めるよう指導していく。

## 目次

## 平成21年第7回甲賀市議会定例会一般質問

平成21年12月10日・11日

順番	議席番号	質問方法	氏名	質問事項
1	10番	一問一答	鵜飼 勲	1 「地域協働体」創設に向けた本市の方針について
2	5番	分割	山岡 光広	1 コミュニティバスの改善・充実について
				2 予防接種について ①日本脳炎の予防接種再開について ②ヒブワクチンの公費助成制度について ③新型インフルエンザ接種の公費助成について
				3 市内公園の遊具の維持管理について
				4 子育て支援について ①休日保育の実施について ②学童保育の指定管理について ③より市民に開かれた幼保検討委員会について
				5 ひとり暮らし高齢者に対する支援策について
3	3番	分割	森嶋 克己	1 新名神甲南ICと甲南PAとの併用利用について
				2 くすり学習館の運営について
4	14番	分割	小松 正人	1 公立甲賀病院の移転開院に伴うアクセス道路の整備について
				2 公立甲賀病院移転後の跡地・施設を活用し、医療・介護・福祉等の複合施設の設置をもとめる
				3 水口医療センターを「医療センター病院」として再開できるように医師確保を急ぎ整備計画を明らかにせよ
				4 地震・台風で倒壊してもよいのか。超老朽住宅を低所得者向けに最優先して建て替えよ
				5 甲賀市の平和施策が一層の輝きを増すために
				6 水口の伝承民芸特産「藤細工」の再興支援策について
5	25番	分割	橋本 律子	1 コミュニティバス有効活用に向けて
				2 学童保育事業のよりよい制度化へ
6	7番	分割	谷永 兼二	1 であい・こうか八景について
				2 信楽陶芸トリエンナーレ2010について
7	2番	分割	木村 泰男	1 自治基本条例の制定について
8	1番	分割	土山 定信	1 道路管理について
9	13番	一問一答	田中 新人	1 オウム対策について
				2 農業・食料問題について
10	8番	分割	的場 計利	1 居家家族介護者への支援の充実を
				2 21世紀は人権の世紀といわれるが市の取り組み姿勢について
11	19番	分割	中西弥兵衛	1 平成22年度予算編成に臨む国、県の方針（廃止・見送り、移管、削減）に対する本市の取りくみ姿勢について問う
				2 文科省学力・学習状況調査への本市の取りくみ状況について
12	4番	一括	小西喜代次	1 より便利で安心して利用できる公共交通の実現を ①信楽地域から水口へのコミュニティバスの直通便を ②ワンデイチケットの復活を ③高齢者・障がい者の外出支援の充実を ④帝産バスの減便とダイヤ再編について
				2 国民健康保険の充実に関して ①国保法44条にもとづく減免制度を実施せよ ②市立医療機関や甲賀病院で無料定額診療事業を開始せよ ③高校生の無保険について
				3 しがらきニュータウンの水道と道路について
				4 信楽町小原の児童クラブの安全対策を
13	6番	分割	橋本 恒典	1 課名変更および青少年活動の現状と青少年団体の育成について
				2 市内の不法投棄の現状とその対策について

# 一般質問

## 13人の議員が 市の考えを問う

◎より詳細な内容はインターネット・甲賀市ホームページの市議会（議会中継）で本議会の模様をご覧ください。

<http://www.city.koka.shiga.jp/>

◎傍聴のご案内  
本会議は原則として公開されています。議会を傍聴することにより、市政の方針を知ったり、市議会の活動に触れていただくことが出来ます。ぜひ市議会の傍聴にお越しください。

問 自治振興会創設に向けた行政が果たすべき役割

問 共感できる共生（ともいき）社会の実現に向け、今後のまちづくりについての考えは。  
市長 これまでの行政の仕組みや公共サービスのあり方を根本から見直し行政と市民の役割分担や協力・連携の方法を改めて再構築することが必要不可欠である。  
問 本市のこれからの財政状況を見据えた中でその実現に向けた決意は。  
市長 自治振興会は、地域コミュニティの本来の姿と役割を取り戻し、自助・共助・公助で地域社会を再構築して住民自治の確立を目指すものであり、本市の未来を確かなものにするため、早急に取り組むべき重要な施策の一つとして推進する。



地域区長会開催風景

問 自治振興会設置について市民のコンセンサスをどのように得るのか。  
総務部長 地域に根ざした議論を積み重ねることが必要であり、その議論の成果を取りまとめ、条例の具体的内容につなぐことが大切である。よい意味での試行錯誤を繰り返す中で成果を得る。

議員 勲 鴉飼

A 住民自治確立に向け推進

Q 地域協働体創設の方針は

割は。

市長 地域との良好な関係を築くとともに、地域における自助・共助の関係が生まれるように、自立した地域創造へ向けた誘導・支援を行う。

# 一般質問

ここに掲載する原稿は、質問者の責任において提出されたものです。

山岡光広 議員

**Q** コミバス・JRとの  
接続ダイヤ改善を

**A** 改善に向け最善の努力したい

市議選の中で寄せられた具体的な要求を中心に5項目（目次参照）について質問した。主な質問と答弁は次の通り。

**問** コミュニティバスの

ダイヤ改善。特にJRとの接続が悪い。例えば甲南南線復路。電車の到着時刻よりバスが一分早く出発。土山本線下りでも貴生川駅にバスが到着し

ていた。こんなダイヤは緊急に改善すべき。また甲南平和堂前にバス停の設置を。

**市長**（JRとのダイヤ

接続の不便さについて）大変遺憾。改善にむけ最善の努力をしたい。

**企画部長** バス停につい

ては、安全性を確保した路線設定を実施していきたい。

**問** 休日保育実施の検討

内容は。

**市長** 新年度を視野に入れ、試行的段階をふまえたなかで、業務の事務作業に入っている。

**問** 学童保育の指定管理見直し。保護者会への指定管理は直営で。

**健康福祉部長** 保護者会

の指定管理については、NPO法人、直営も含めて、今後の対応を検討している。

コミュニティバス甲南南線復路		
甲南駅出発	10時54分	14時54分
JR到着時刻	10時55分	14時55分
※電車の到着よりバスが1分早く出発		

**Q** 甲南ICとPAの  
併用利用は

**森嶋克己 議員**

**A** 構造的には併用利用は可能

**問** 新名神甲南PAから

ICに出られない構造について。

**市長** 国土交通省や県警

察本部などが交通安全対策など検討され現在の形式が採用されたが、出られるようにするための

の改修に向け西日本高速道路株式会社や県など関係機関に要望している。安全面とコスト面を最優先

に考え、今後は甲南ICの管理者の県と調整する。

**問** 出られる構造変

更は可能か。

**建設部長** 構造的に

は甲南PAからIC

へ出られるように変更することは可能である。

**問** くり学習館の運営

について。

**市長** 完成後は業協

会に委譲するが、運営費の拠出はしない。

**問** 施設の利用計画は。

**教育長** 完成後、児童

生の学習の場として有効活用する。

**問** 観光施設としての利

用は。

**産業経済部長** 観光客

が多くの人に来てもらえる施設として運営をしていただきたいと考えている。



完成間近のくり学習館

**Q** 水口特産  
伝承「藤細工」の再興策を

**A** 意欲的な復興活動を支援する

小松正人 議員

**問** 水口の伝承「藤細工」

の製作が絶えて数十年たつ。これを復興しようとするグループが熱心に活動されている。市長はこれをどうご認識か。

**市長** 郷土細工品の復活・

振興にかける熱意に期待しエールを贈りたい。

**問** 10年前から「水口細

工復興研究会」として立ち上げられている。引き続き支援が必要だ。

**教育部長** 「保存会」の

形にできないか考えている。

**問** 水口歴史民俗資料館

に陳列されているがもっと多くの市民の目に触れるように出来ないか。

**教育部長** 常設展示だけ

でなく「館」のロビーでの展示も検討したい。

**問** 公立甲賀病院の移転

開院に向けて、通院バス、巡回バスの乗り入れ運行



水口の藤細工

計画は出来ているか。

**企画部長** 公立甲賀病院

による通院専用バス等の計画はできていないが、

甲賀市のコミュニティバスを公共交通計画の中で新病院への乗り入れ運行計画を策定していく。

その他に、新病院へのア

クセス道路の整備。公立甲賀病院移転後の跡地・

施設の活用。水口医療センターの整備計画など質問した。

## 一般質問



### Q コミバスの 利便性の向上は

橋本律子 議員

### A デマンドバス制度の導入を 検討する

新甲賀病院の平成24年度の完成に向け、市民の皆様により有効なバス運行アクセス改善が求められている。さらに高齢者の方々からも公共施設・病院・スーパー等への増便やバスストップ設置のニーズが多い。遠隔地への利便性や市の将来的な負担等を考慮する中で次の方針を伺う。

**問** デマンドバス制度の現状・将来的運用計画は。

**企画部長** 現在貴生川サントピア方面一日往復28便・貴生川駅⇄土山SA間どちらもまだ利用は少ない状況・空時間を利用して大きな経費がかかって

いないことから乗車の少ない地域での予約制は有効と考える。現在利用者の少ない路線も定時運行していることから経費面・環境面から見直す必要あり、デマンド型運行の検討をする。甲賀病院など利用多い路線は予約事務煩雑となり定期便が望ましい。今後利用者実態を把握し、路線・予約方法を検討しデマンド導入へ。

**問** 主要な病院・スーパー・公共施設への増便やバスストップ設置計画は。

**企画部長** 総合連携計画において路線再編や運行形態を見直す。(新病院開院を想定した計画を行う。)



コミュニティバス

他に学童保育のよりよい制度化や基本協定の中の責任などについて質問した。

### Q 選定に際しての想いは

谷永兼二 議員

### A 郷土への愛着と誇りである

**問** 『であい・こうか八景』の選定に際しての市長の想いは。

**市長** 豊かな自然と歴史文化に恵まれ、「人 自然 輝き」をつづける。甲賀」を総合計画に掲げる本市にあつて、誇れる自然風景の保全に努めることや、市民の郷土への愛着がさらに強まることを願い選定を強く望んできた。市制50周年を迎えた今、旧5町の特徴ある風景を一体的に捉え、「甲賀市」という視点で全国に発信できることは、郷土の愛着と誇りであり、甲賀の地域に住む人と生活の向上に大きく寄与するものと考えている。



八景の一つ 鶏鳴の滝

**問** 今後の活用について具体的な計画は。

**教育部長** 一つの風景を大きなテーマとして取り

**問** 今後の活用について具体的な計画は。

**教育部長** 一つの風景を大きなテーマとして取り

### Q 自治基本条例の制定を

木村泰男 議員

### A まず自治振興会の組織化から

地方分権、市町村合併、財政難は、地方自治体のあり方を根底から変えつつあります。このことに対応した自治基本条例制定に甲賀市でも早急に取り組むべきとして質問。

**問** 自治体の憲法とも呼ばれる自治基本条例について8点にわたり質問。

**総務部長** 自治の原則を示すもので、地域特有の多様な課題を解決するための市民合意を明文化したものです。主体は市民であり、まずは自治振興会を立ち上げる中で論議を積み上げ、その上に住民代表等による検討の場で論議を積み重ねる。

**問** 継続的なPRが必要と思うがその方法は。

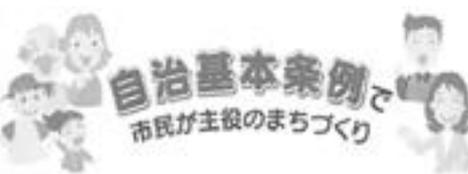
**教育部長** 多くの選択肢の中から、継続的、発展的に甲賀市の魅力を引き出し、全国に発信していく。

**問** 平成22年度には制定としておられたが。

**市長** 目標年度にこだわらず、その必要性を含め、丁寧な論議を重ねる。まずは来年度より取り組み自治振興会の立ち上げの過程で論議を重ねる。

**問** 公共施設や補助金の見直し、自治振興会の導入は市民の理解が必要。そのためにも市民との協働によるまちづくりを示した自治基本条例の制定が必要ではないか。

**市長** 新しいコミュニティを創造するため、小学校区単位の活力ある「共生社会」を構築する自治振興会を、市民の皆さんと行政とで創造していく。



# 一般質問

ここに掲載する原稿は、質問者の責任において提出されたものです。

土山定信 議員

**Q** 道路の維持管理は

**A** 今後も努力する

最近私に、「道路管理が行き届いていないような気がする」との意見を多くいただいている。市道の内容を把握して根本的な原因を調査したいとの思いで質問。

**問** 甲賀市の道路延長は。

**建設部長** 高速道路31・7 km国道87 km主要地方道78・7 km県道163・8 km市道1170 kmである。

**問** 市道でまだ舗装していない幅の狭い道路は。

**建設部長** 50・8 km264路線あり、地形的に今後の改良は難しい。

**問** 市が道路巡回は行っているのか。

**建設部長** 集落間および通学路を中心に週一回程度、路面状況、支障物調査を行っている。

**問** 市道の道路施設が事故等により壊された場合の対応について。

**建設部長** 原因不明は市にて補修しているが、原因者が明白な場合は原因者が、保険等により修繕を行っている。

**問** 市側の何らかの責任有りとなされる道路の事故件数については。

**建設部長** (回答別表に) **問** 年度別修繕費の費用について。

**建設部長** (回答別表に) 安全のための区画線路線補修の順位は全体レベルを把握して、危険箇所を最優先に。

年度別	市が責任あり瑕疵件数	区画線補修費	舗装修繕費
17年度	6件	290万円	8,867万円
18年度	21件	196万円	13,245万円
19年度	4件	206万円	10,734万円
20年度	3件	141万円	11,318万円

**Q** 安心できるオウム対策は

**A** さらに対策強化を働きかける

田中新人 議員

**問** 市で把握している水口施設のオウム真理教の現況は。

**市長** 公安の立入調査の結果、信徒男性8人が居住。居室で教祖の呪文が流れ、教祖の写真、修行用ヘッドギア、著書、説法CD等所有し、かつて大量殺人を行った教義を、現在も信奉している。

**問** 住民が安心できる対策と推進計画は。

**市長** 地元の関係者の意向を充分尊重して、全国の関係自治体と連携する同連絡会の活動を通じ、さらなる対策の強化を引き続き強く国に働きかけていく。

**問** 農業・食料問題、甲賀市の地産地消率は。

**産業経済部長** 多種多様な流通経路を経ており、実態を把握するのは極めて困難である。地域で消費される食料の59%相当は、甲賀市内で生産されている。

**問** 甲賀市の農業のあるべき姿は。



耕起風景

**産業経済部長** 本市農業を支える核として担い手の育成を目指す。農業を恒久的に発展させていくためには、規模の大小を問わず、地産地消の推進により、地域での生産と消費を結びつけ安定した需要を確保することが何よりも重要である。

的場計利 議員

**Q** 居宅家族介護者への支援充実を

**A** 介護負担の軽減、安心に努める

**問** 高齢社会の進展で増える要介護者。在宅介護の現状と施設介護希望者の待機者数は。

**健康福祉部長** 要介護4および5の人の内、施設入所者は60・4%。待機者は935人。

平成23年度に100床の特別養護老人ホームを開設予定。

**問** 居宅家族介護者の経済的、心身共の負担は大変なものである。その負担軽減については。

**市長** 高齢者を介護されている方の苦勞は大変なものであると思う。訪問、

通所、短期入所介護の主要サービスは、質量共に確保できる供給体制の充実は必要。

**問** 21世紀は人権の世紀と言われるが、市の取り組み姿勢について。

**教育長** 人権は人間の尊厳に基づく権利。等しく保障されねばならない。

啓発、学び、主体的活動の推進を柱に取り組み。啓発リーダー研修会等で指導者の資質の向上を図る。



消化型の研修会開催と受けとめられる事もあるようだが、職員は人権問題の解決を図るために取り組む決意をきちんと持っている。

## 一般質問



**市長** 県施工区間である長野バイパスでは一部土地の筆界確認を行ないつつ実施設計中であるが、国施工の信楽道路では事業用地の契約調印が一部完了したものの来年度の凍結路線



整備が進むSKR紫香楽宮跡駅付近（信楽道路）

**Q** 国・県の予算に対する本市の対応は

中西弥兵衛 議員

**A** ねばり強く要望していく

**問** 平成22年度予算編成を前に政府は447事業をふるいにかけて、廃止、削減凍結等に仕分けた。その上県においても総額57億円の事業見直しが出されたが本市へのインフラ整備への影響と対応は。国道307号バイパスの現況と見通しは。

候補に上っているため早期供用が図られるように国にねばり強く要望していきたい。

**問** 信楽地区公共下水道整備事業および朝宮地区農排事業の現況と見通しは。

**市長** 公共下水道事業の長野地区への整備については予算上、継続の実施が不可能なため今後当面5年間一時中断せざるを得ないことになる。朝宮地区農排事業については残事業量を精査の結果、平成27年の供用開始が遅れることのないよう県知事に強く要請している。

**Q** 安心して利用できる公共交通の実現を

小西喜代次 議員

**A** コミバスの役割と機能分担を継続する

「市民の願いをまっすぐ市政に届ける」立場から以下4点を指摘した▽より便利で安心して利用できる公共交通の実現を▽国民健康保険の充実に

関しては、①国保法44条にもとづく減免制度を実施せよ②市立医療機関で無料定額診療事業を開始せよ③高校生の無保険をなくすこと▽しがらきニュータウンの水道と道路を市に移管せよ▽信楽町小原の児童クラブの安全対策を。

**問** 交通問題での質問と答弁は以下のとおり。  
**問** 信楽地域から水口へのコミュニティバスの直通便を。

**市長** コミュニティバスの役割は駅までの輸送で信楽・貴生川間は高原鐵道が担う従来の方式を継続する。



信楽ニュータウンの道路

**問** コミユニティバスの水口までの料金格差の改善を。

**企画部長** 乗り継ぎ制度の改善策を検討したい。  
**問** ワンディチケットの復活を。

**企画部長** 22年3月を目指して検討している。料金は従来の1000円は無理だが、新制度導入で公共交通の利用拡大につなげたい。

**問** 帝産バス減便・再編への対応を。

**企画部長** これまで午前9時の増便を要望してきているが実現していない。市のバスでの石山までの代替バスは考えていない。コミュニティバスが停車しない勅旨地域での停車は今後検討する。

**Q** 青少年活動の現状と青少年団体の育成は

橋本恒典 議員

**A** 指導者の育成など支援する

**問** 今年4月から生涯学習課が社会教育課に名称変更された。その経緯と方向性は。

**市長** 「生涯学習」は学習の総称であることから、学校教育法に基づいた「学校教育教育課」、社会教育法に基づいた「社会教育課」を設置し、甲賀市総合計画に基づき「たくましい心身と郷土への誇りをもつ人を育てる」ことを目指す。

**問** 市内の青少年活動の現状と青少年団体の育成は。

**教育長** 市内の子どものちのスポーツ文化活動は活発であるが、地域子ども

も会などでは会員の減少や指導者の不足などの問題も生じている。今後も各関係機関と連携を図りながら、指導者の育成、情報提供など支援を行う。  
**問** 不法投棄の現状とその対策は。

**市民環境部長** 市内の産業廃棄物の不法投棄は平成20年度末で21件あるほか、一般廃棄物の不法投棄は粗大ゴミやポイ捨て等後を絶たない。不法投棄監視員のパトロールなどにより不法投棄を未然に防ぐと共に、県の地域協働原状回復事業など市民、事業者、行政が一体となり環境保全活動に取り組む。



不法投棄の撤去作業

## 特別委員会の動き

議会改革  
特別委員会

### 開かれた議会を 目指して

委員長 石川善太郎

地方分権の進展に伴い、地方公共団体の判断と責任に基づく行政運営が強く求められている中、市議会の果たす役割についても大変重みが増してきています。

このことから、政策提言や立案機能の強化、議会審議の活性化、および市民への積極的な情報提供など、地方自治体における二元代表制の意義と、より開かれた議会の推進に向けた種々の問題について調査研究を行うことを目的に、議会改革特別委員会が設置されました。昨年10月18日に実施されました甲賀市議会議員の選挙で新たに市民の負託を受けた27名の議員の中から9名の議員で委員会を構成し、その任に当たります。

この委員会では議員定



数の削減や費用弁償の見直し、本会議における代表質問、一般質問の方法、議会と市民の皆様との討論の場について等を手がけてきましたが、まだまだ改善改革見直し等、多くの課題に向けて真正面から取り組み、委員間での活発意見交換をして、設置の目的に沿った開かれた議会を目指していきたいと思っています。

交通対策  
特別委員会

### 利用実態に応じた、 より充実した施策へ

委員長 葛原 章年

交通対策特別委員会では、その設置目的として『公共交通機関は住民の安定した移動手段として、高齢者や障がいを持つ人たち、また、通勤、通学者等に必要なお交通インフラの整備と利便性の向上が求められている。中でもコミュニティバス運行のさらなる充実、JR草津線の拡充強化と複線化の促進・信楽高原鐵道の利用促進に加えて、びわこ京阪奈線(仮称)鐵道構想の具現化のため、必要な調査研究を行う。』としています。特に、コミュニティバスの充実については、利用者ニーズの把握にため、利用実態に応じた車両の配置やデマンド方式でのバス、タクシー導入を視野に入れた調査、検討を行ってまいります。また、信楽・石山間を走



る帝産バスが乗降客の減少・燃料代の高騰などの理由で減便がなされましたが、地域にとって重要な路線であるとの認識から、今後もコミュニティバスと同様に調査研究を続けていきます。また、草津線の複線化、信楽高原鐵道の利用促進等、鉄軌道交通の諸問題についても効率化を考えた上での今後のありべき姿を検討し、必要に応じて甲賀市と同様に、少子・高齢化が進む中で市民の足を確保するため努力し効果をあげている先例地研修も進めていく予定です。

環境対策  
特別委員会

### 市内の産廃不法投棄と 温暖化防止対策等の 取り組みを強化

委員長 小松 正人

合併後、2期目の市議会は、環境に関わる特別委員会を設置し、前半で「産業廃棄物対策」としてクリーンセンター滋賀の建設と最終処分場のあり方、浸出水異常のチェックに魚の放流など安全操業に至る過程を繰り返して研修し現地調査をいたしました。さらに、後半の「環境・廃棄物対策」では、市内にある7ヶ所の産廃中間処理施設の内6ヶ所を視察し、再生処理の安全性を実態調査しました。

今回3期目の取り組みとして、水口町春日地先で県の



認可した産廃大型最終処分場の隣地に、大規模な不法投棄があり、投棄物の処理と環境影響調査は緊急の課題。また、管内の7ヶ所の産廃不法投棄箇所も早急に現地調査し、周辺の汚染状況、下流域の水質調査などを進める。さらに地球温暖化防止対策は行政、事業所、市民の協働する待ったなしの課題。施設CO<sub>2</sub>の排出抑制やマイカー通勤によるCO<sub>2</sub>対策、省エネでは環境省事業のLED化による防犯灯の通学路優先設置など絞り込んだ内容で重点的に取り組みます。

## 議会運営委員会・組合議会の動き

### 議会運営委員会

#### 市民に期待される議会運営を

委員長 村山 庄衛

地方財政が逼迫するなか、市民は行政にはもちろんのこと議会にも多くの期待をかけています。

一方、議会に対する市民の視線が厳しいことも事実であることを感じます。このことを議会運営委員会として真摯にうけとめ、もっと市民の皆様に関心を抱いてもらえる議会をめざし、身近で信頼感を高める議会にしたいと思っています。

昨年度より議会改革を本格的に進める中、一問一答方式により本議会における議員のより専門性を高める審議のあり方をさぐってきました。議員は行政が気づかなかった地域の情報を議会活動の中で取り上げ、議会審議を深め、充実することが結果的には監視機能や政策提言につながるころ

です。

#### 今年度の取り組み

今年度も議会改革特別委員会での議会の活性化、改革のあり方についてさらなる議論が進められ実践に向けての提言がなされているところですが、議会においては提案された内容を議会内部だけの検討に留めることなく、市民の皆さんに情報公開し、意見交換や政策議論を行う活動を通して自治の活性化と質を高め、成果を挙げるべく努力してまいります。



### 甲賀広域行政組合議会

#### より万全の体制づくりへ

—第5回臨時議会報告—

橋本 律子

11月24日(火)、消防本部庁舎に於て、甲賀・湖南両市選出10名の議員による第5回臨時議会が開催されました。議会人事ならびに議案審議の結果は次のとおりです。

#### 甲賀市関係人事

議長 服部治男  
監査委員 橋本律子  
議員 岩田孝之  
安井直明  
葛原章年

#### 議案審議と結果

◆平成21年度甲賀広域行政組合一般会計補正予算の専決処分の承認  
 新型インフルエンザワクチン149名分で救急隊員に優先的に接種。追加予算 91万円  
 ◆甲賀広域行政組合職員給与に関する条例等の一部を改正する条例について

人事院勧告に伴い規定の減額及び改定対象職員に対して月額0・24%減となり本期末より改正となる。  
 —賛成多数により可決

◆甲賀広域行政組合一般会計補正予算の件  
 —全員賛成により可決

消防本部広報車が1台更新され、広報だけでなく火災現場への職員搬送や現場指揮の設備を機装。購入価格 1台 514万5千円



新調された広報車

### 甲賀広域公立病院議会

#### 第2回臨時議会

議長・副議長が決まりました

小松 正人

昨年10月に、甲賀市、湖南市の市議会議員の改選に伴い、両市選出の病院議員による、第2回臨時議会が11月24日、開催され、議会人事および職員給与改正等、3議案が提出され、いずれも可決されました。

◆議長選挙(◎当選)  
 ◎矢野進次(湖南市) 8票  
 小松正人(甲賀市) 2票  
 ◎同じく副議長選挙  
 ◎村山庄衛(甲賀市) 8票  
 松井圭子(湖南市) 2票  
 ◎同じく監査委員の選任  
 ◎鈴木美智枝(湖南市)  
 (全員賛成にて同意)

#### 議案審議と結果

◆議案第20号  
 公立甲賀病院組合職員給与に関する条例の一

部を改定する条例の制定について  
 —医療職(一)を除く行政職、医療職(二)、医療職(三)を「人勸」に伴って引き下げる。—  
 反対討論あり、採決の結果、賛成多数で可決。

◆議案第21号  
 平成21年度甲賀病院事業会計補正予算(第3号)についての件  
 —修学資金貸付け増額  
 全員賛成により可決

#### 病院議会議員の発表

甲賀市関係  
 鵜飼 勲  
 石川善太郎  
 中西弥兵衛  
 小松 正人  
 村山 庄衛

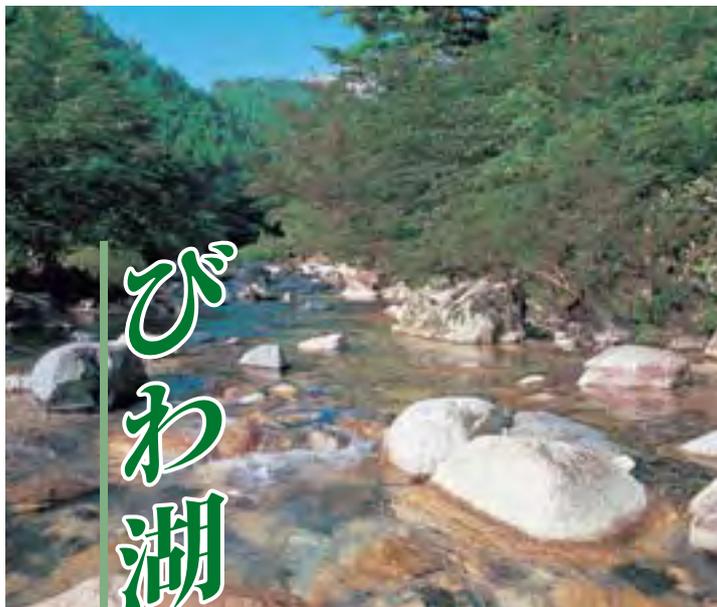
# であいこうか 八景

Vol.1

- ① びわ湖の源流
- ② 陶都の山容
- ③ 豊かな田園
- ④ お茶のふるさと
- ⑤ 甲賀の里を望む
- ⑥ 東海道の道しるべ
- ⑦ 甲賀の車窓から
- ⑧ 甲賀のにぎわい

甲賀市には身近で魅力ある風景が数多くあります。

このたび、『こうか八景』を市民の皆様から募集し選定されました。市では、その風景は特定されていませんが、市議会だよりでは今回からシリーズでこうか八景をご紹介します。



野洲川ダム上流の清流

## びわ湖の源流

鈴鹿山脈の御在所山に源を發し、甲賀市を貫流する野洲川。その支流では、春は桜、初夏は蛍、秋は紅葉、冬は雪景色など、見事な四季折々の風景に出逢えます。



雪の中の源流  
(鈴鹿浦谷橋園地付近)



鈴鹿連山の雪景色

### 編集後記

新年を迎え、皆様方には、それぞれのお立場で決意を新たにされ、早や1ヵ月がたちました。私たち議員も昨年10月に行われた選挙により第3期甲賀市議会が27名の議員でスタートし、初議会を終え、最初の議会報告となります。広報特別委員会も新メンバーになり、前広報特別委員会での広報誌に負けないう紙面づくりに尽してまいります。皆様のご意見・ご感想など、お寄せいただければ幸いです。  
(広報特別委員長 舩 藤男)

#### 広報特別委員会委員



- |       |       |        |       |         |
|-------|-------|--------|-------|---------|
| ◎委員長  | 谷永 兼二 | 森嶋 克己  | 橋本 恒典 | (後列右から) |
| ○副委員長 | 橋本 律子 | 小松 正人  | 舩 藤男  | (前列右から) |
|       |       | ○的場 計利 | 田中 新人 |         |

#### カメラの



甲賀市民駅伝競走大会が今年も1月17日、土山体育館前をスタート・ゴールに行われました。支部対抗の部や一般の部、小学生の部などが行われ、子どもから大人まで世代を超えたタスキリレーが行われました。  
甲賀市からは毎年全国中学校駅伝大会に出場されている他、市民駅伝と同日に開催された全国都道府県対抗女子駅伝にも出場するなど、全国でも活躍しています。